

重要ポイント

1 現代社会の生活

(1) グローバル化の進展

グローバル化…国境をこえて、人やもの、お金や情報などが移動し、世界の一体化が進む動き。

国際競争…国内と国外、または異なる国や地域どうして商品の質や安さを競うこと。

国際分業…それぞれの国や地域が特性に最も適したものを生産し、貿易によって交換を行うこと。

多文化社会…さまざまな文化を持った人々が、同じ地域で共生する社会。

(2) 情報化の進展

情報通信技術の発達により、大量かつ多様な情報を入手、共有、発信できるようになり、**情報化**が進み、人々の生活において大きな役割を果たしている。このような社会を**情報社会**という。

(3) 少子高齢化の進行

出生率の低下によって子どもの数が減り、平均寿命の伸びによって高齢者が増える**少子高齢化**が進み、現在の日本は**少子高齢社会**となっている。少子高齢化によって労働力人口が減少するため、社会保障への影響が考えられている。

2 文化

(1) 現代の文化

現代の文化の領域の例

科学…食料生産技術や医学など、人々の生活の向上に役立つ。

宗教…日々の生活での不安からのがれ、生きる意味を求めて、神や仏などを信仰する。

芸術…コンサートや美術展など、人生を豊かにする。

(2) 伝統的な文化

長い間人々に受けつがれてきた歴史を持つ文化を**伝統文化**といい、その保護のために国は文化財保護法などの法律を制定し、**文化財**の保存や活用に努めている。

(3) 文化の多様性

地域によってさまざまな文化が存在し、なかでも琉球文化とアイヌ文化は独特な文化を築いた。また、日本の中にも韓国や中国など、外国の文化も存在している。

3 現代社会の考え方

(1) 社会集団での対立と合意

家族や地域社会、学校や職場のような集団を**社会集団**といい、人間はその中でたがいに協力しなければいけないので、**社会的存在**であるといえる。

社会集団の中では、考えや求めるもののちがいがから、**対立**が生じることがある。人々はこれを解決するために、たがいに納得できる策を求め、**合意**をめざす。

(2) 効率と公正

トラブルの解決策が納得できるものか判断するための考え方は代表的なものが2つある。

効率…無駄を省くという考え方

公正…手続きや機会において、特定の人が高不当なあつかいを受けないようにする考え方

(3) きまりのつくり方、決め方

トラブルが起こるのを未然に防ぐために、あらかじめ集団の中でつくっておくものをきまりといい、きまりをつくるうえでは、誰にどのような権利があり、どのような義務や責任があるのかをはっきりさせることが重要である。

きまりを決める方法は代表的なものが2つある。

全員一致…一人でも反対すると、トラブルが解決できないきまりをつくる場合

多数決…結論を出さなければいけないきまりをつくる場合

※ 多数決で決める場合、少数の意見も尊重することが大事(少数意見の尊重)。

【練習しよう】

次の問いに答えなさい。

- (1) 国境をこえて、人やもの、お金や情報などが移動し、世界の一体化が進む動きを何というか。
- (2) さまざまな文化を持った人々が、同じ地域で共生する社会を何というか。
- (3) 情報化が進み、情報が人々の生活において大きな役割を果たしている社会を何というか。
- (4) 出生率の低下によって子どもの数が減り、平均寿命ののびによって高齢者が増えることを何というか。
- (5) 長い間人々に受けつがれてきた歴史を持つ文化を何というか。
- (6) きまりを決める代表的な2つの方法を答えなさい。

解答

- (1) グローバル化 (2) 多文化社会 (3) 情報社会 (4) 少子高齢化 (5) 伝統文化 (6) 全員一致、多数決 (※ 順不同)